

File E - 5: 宿泊生活を通して、自主性や思いやりの気持ちを養うプログラム >>>>> ナイトハイクを楽しもう
 (ねらい) 夜の世界を直接体感する驚きを通して、身近な自然や生き物を見つめ直すことができるようになる。

前橋赤城少年自然の家(所要時間 30 分)

赤城湖キャンプサイト(所要時間 1 時間)

【アイスブレイク】



つながりの人間椅子

【ナイトウォーク】

(内容) 大沼に面したキャンプサイトを歩きながら、暗闇の中で 5 感(特に音感)を働かせ、水や鳥の音を聞く。

(ねらい) 水や生き物の気配を感じ取れるようになる。

【ネイチャーゲーム】

(内容) 1、鷹とネズミゲームの中で両方とも生き残るために必要なことを挙げる。

2、鷹とネズミが生き残るために自分であればどうするか考える。

(ねらい) ゲームを通して生き物同士のつながりを理解する。

指導体制：指導者 1 名、指導助手 5 名 に対し **対象人数**：25～30 人

準備：ふりかえり記載用の筆記用具(サインペン・ペーパー・筆記ボード)

留意点：明かりなしのナイトウォークのため、グループをあらかじめ確認しておく。

振り返りの活動の際には、自主性や思いやりについて考えることができるように配慮する。

プログラムの関連性：

小学校学習指導要領

理科 内容 B 生命・地球

5 年 (1) 植物の発芽・成長・結実 植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は、種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係していること

ウ 植物の生長には、日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのものが実になり、実の中に種子ができること。

6 年 (3) 生物と環境 動物や植物の生活を観察したり、資料を活用したりして調べ、生物と環境とのかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は、水及び空気を通して周囲の環境とかわって生きていること。

イ 生物の間には、食う食われるという関係があること。